

一般社団法人 山梨県情報通信業協会

# 平成 26 年度通常総会議案書

---

日時 平成 26 年 6 月 18 日（水） 午前 11 時から

会場 ホテル談露館 2 階 山脈

一般社団法人山梨県情報通信業協会

## 平成 26 年度通常総会次第

1 開会

2 会長挨拶

3 議事録署名人の選出

4 議事

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び  
平成 25 年度収支決算書の承認について

第 2 号議案 会費に関する規則の改定について

第 3 号議案 役員を選任について

5 報告事項

平成 26 年度事業計画及び平成 26 年度収支予算書について

6 その他

7 閉会

## 【第1号議案】

### 平成25年度事業報告（案）

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

#### 1. 概況

世界的な金融不安による経済不況も5年を経過し、EU諸国においては、政府・中央銀行の諸施策の実施により、債権危機は沈静化し、企業や個人の景況感は改善しており、ことに、発祥地とも言える米国に於いては、雇用状況も改善の方向にあり、弱含みとはいえ回復に向けての期待が持てる状況となった。

我が国においては、3年3ヶ月に渡る民主党政権が終わり、安倍政権による”異次元の金融緩和策“を伴うアベノミクスの第1矢により、円安が加速し、株価は朝鮮特需以来とも言える上昇を示し、個人消費は底堅い推移となり、景気判断は、「緩やかに回復しつつある」から「回復している」に更新された。

本県に於いても、個人消費は緩やかに改善し、設備投資の慎重姿勢も緩和傾向にあることから、甲府財務事務所は、生産活動には一服感はあるものの景気は上向き傾向が強まったとし、総括判断を「持ち直しつつある」とし、山梨中央銀行は「景気は、持ち直している」としている。

情報通信業界に於いては、スマートフォンの急速な普及、企業経営へのタブレットの導入、ビッグデータの利活用への関心の高まり、「マイナンバー制」導入への対応、ウェアラブル元年とも評されるデジタル・デバイスの登場等、「スマート革命」は着実に進行しており、新たなビジネスチャンスの可能性は高まってきております。その反面、こうした最先端の通信技術の進展に対応出来るICT技術者の育成、人材の発掘・確保は、地域ICT企業が早急に対応すべき課題となっております。

こうした現状を踏まえ、当協会に於いては、成長産業の振興を支える基盤産業としてのコンプライアンスを認識し、県内企業のICT化の推進のための公益事業・セミナーの実施、新たな需要を創出するための他産業との連携事業を推進しました。

また、財政基盤の強化を図るための収益事業を常任委員会を核として、次の通り実施して参りました。

## 2. 通常総会・理事会

### 【通常総会】

期 日	内 容	会 場
平成 25 年 6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度事業報告、収支決算承認について</li> <li>・平成 25 年度事業計画、収支予算承認について</li> <li>・役員を選任について</li> </ul>	ホテル談露館

### 【理事会】

期 日	内 容	会 場
平成 25 年 4 月 26 日	第 1 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入会承認（アクセル・データ株式会社）</li> <li>・退会報告（株式会社昌電社）</li> <li>・年間スケジュールについて</li> </ul>	人材開発センター
平成 25 年 5 月 22 日	第 2 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度事業報告及び収支報告</li> <li>・通常総会開催概略</li> </ul>	ホテル談露館
平成 25 年 6 月 25 日	第 3 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度通常総会議案書確認</li> <li>・通常総会・交流会次第確認</li> <li>・NNS 雨宮社長 理事候補への推薦について</li> </ul>	ホテル談露館
平成 25 年 7 月 29 日	第 4 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Android ソフトコンテスト実施について</li> <li>・YSA ゴルフコンペ開催について</li> <li>・首都圏情報団体連絡協議会報告 合同ビジネス交流会 メトロエリア・グリーン会</li> <li>・公益目的支出計画の実施完了報告</li> </ul>	ホテル談露館
平成 25 年 10 月 16 日	第 5 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・堀内顧問の都留市長立候補推薦について</li> <li>・テクノ ICT メッセ出店について</li> <li>・役員退任について</li> <li>・上期実績報告</li> </ul>	人材開発センター
平成 25 年 12 月 16 日	第 6 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度事業計画案、予算案作成スケジュール</li> <li>・平成 26 年賀詞交歓会について</li> </ul>	ホテル談露館
平成 26 年 1 月 22 日	第 7 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員選考委員会の設置について</li> <li>・平成 25 年度委員会別事業実績について</li> <li>・第 3 四半期実績報告</li> <li>・メトロ幹部会出席について</li> </ul>	ホテル談露館
平成 26 年 2 月 25 日	第 8 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度事業計画案について</li> <li>・役員選出委員会報告</li> <li>・入会承認（株式会社西井電設）</li> </ul>	県立図書館
平成 26 年 3 月 26 日	第 9 回理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度事業計画案・予算案承認</li> <li>・平成 26 年首都圏情報団体連絡協議会スケジュール</li> </ul>	シーズ

### 3. 委員会活動

#### 1) 総務委員会（委員長：長坂副会長）

##### ① 会員の状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

区 分	期初会員数	新規加入数	退会数	期末会員数
正会員	52	2	1	53
賛助会員	8	0	1	7
特別会員	1	0	0	1
合 計	61	2	3	61

##### ②公益目的支出計画の実施完了

当初 2 年間で支出計画を完了する予定でしたが、1 年目で完了することができました。

##### ③理事会、定例会、総会の開催

協会の運営のため、9 回の理事会、総会の開催、会員への事業経過の報告及び講演会開催のための定例会を開催しました。

##### 【定例会講演】

- 4 月 26 日 演題：平成 25 年度「やまなし産業支援機構」事業計画と中小企業支援策  
講演者：(公財)やまなし産業支援機構中小企業振興部  
課長補佐 野本 大貴氏
- 5 月 22 日 演題：IP ネットワーク及びその関連技術  
講演者：東日本電信電話(株)山梨支店長 笠原 英樹氏
- 7 月 29 日 演題：品質アラカルト  
講演者：国立大学法人 山梨大学 理事・副学長 新藤 久和氏
- 12 月 16 日 演題：品質機能展開とソフトウェア開発  
講演者：国立大学法人 山梨大学 准教授 渡辺 嘉道氏

##### ④Y S Aゴルフコンペ

11 月 2 日 境川 CC にて開催しました。5 組 18 名が参加しました。

##### ⑤外部団体との交流

外部団体の事業や研究会に参加し活動を行いました。

- ・一般社団法人情報サービス産業協会 地域連携推進会議  
平成 25 年 9 月 10 日、平成 26 年 3 月 10 日
- ・首都圏情報団体連絡協議会  
事務局会議 平成 25 年 6 月 7 日、平成 25 年 12 月 6 日  
メトロ幹部会 平成 26 年 3 月 7 日  
メトロ・グリーン会 平成 25 年 12 月 5 日

- ・合同交流会

平成 25 年 12 月 18 日（水） ベルクラシック甲府

## 2) 研修委員会（委員長：鈴木理事）

### ①一般社員研修

- ・新入社員研修（4 月 11 日、12 日。会場：人材開発センター）  
会員企業 4 社の新規採用者 20 名が参加しました。

### ②高度 I C T 技術者研修

- （12 月 6 日、7 日。会場：人材開発センター）  
・情報セキュリティ研修「P C 実習!! 攻撃手法から学ぶネットワーク/Web アプリケーション セキュリティ講習会」・・・11 社 15 名参加しました。

### ③視察研修

- ・インターロップ 2013（6 月 13 日。会場：幕張メッセ）・・・8 社 14 名参加しました。

### ④産学連携事業

- ・山梨大学工学部コンピュータメディア工学科 3 年生  
「ソフトウェア開発実習」への講師派遣  
10 月 15 日 第 1 回産学連携実践的 IT 講座（山梨大学）  
派遣講師：シンク情報システム高山氏  
11 月 12 日 第 2 回産学連携実践的 IT 講座（山梨大学）  
派遣講師：YSKe-com 廣瀬氏、沼氏  
11 月 26 日 第 3 回産学連携実践的 IT 講座（山梨大学）  
派遣講師：YCC 小林氏  
1 月 28 日 第 4 回産学連携実践的 IT 講座（山梨大学）  
成果発表会の評価

## 3) 事業委員会（委員長：清水理事）

### ①厚労省人材育成奨励金活用研修

- ・先期 2 月の「Java 基礎研修」に引き続き、「Android プログラミング研修」を 2 回開催  
しました。  
第 1 回は 7 月 3～5 日、第 2 回目は 9 月 5～6 日に開催し、2 社 17 名が受講しました。

### ②「山梨テクノ I C T メッセ 2013」への出展

- ・ビジネスマッチングコーナー（7 社出展）  
・ I C T 相談コーナー（IT コーディネータ山梨）  
・会場で Android ソフトウェアコンテスト表彰式を開催

### ③成長産業 I C T 活用事業

- ・業種間コーディネート  
昨年度に引き続き、製造業、ICT 企業、銀行、シンクタンク、広告代理店、県情報政策課、

県工業技術センター、やまなし産業支援機構などをメンバーとした「連携プラットフォーム」を構築、WG 会議を開催して、異業種間の交流をコーディネートしました。

・先進地視察（2013年12月と2014年2月に実施）

12月12～13日 9社15名が参加し、中京地域のトヨタ自動車、ソフトピアジャパン、  
未来工業を見学。岐阜県情報産業協会会員企業と交流・情報交換した。

2月12日 10社19名が参加し、長野県塩尻市のサイベックコーポレーションを見学。

・課題解決のためのプロトタイプ開発

製造業5社と連携し、製造現場の技術ノウハウをICTを活用して伝える技能伝承システム「プロダクトノート（仮）」のプロトタイプを作成し検証を行いました。

#### ④成長産業のICT化促進事業

・県内成長産業、自治体へのICT化を促進するため関連のセミナーを実施し、導入への足掛かりとしました。

1月31日 情報セキュリティセミナー（ベルクラシック甲府）

演題：「映像とデモで知るサイバー攻撃と脅威の動向について」

講師：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

セキュリティセンター 渡辺 貴仁氏

参加者：Y S A 30名、他産業21名、自治体7名

2月14日 スマートデバイス活用セミナー（山梨県JA会館）

演題：「タブレット・スマホは会社にどんな利益をもたらすのか？」

～活用事例紹介 「COMPASS」全国取材の現場から～

講師：株式会社リックテレコム「COMPASS」編集長 石原 由美子 氏

参加者：Y S A 17名、他産業20名、自治体3名

#### ⑤NPO法人「山梨県安心安全見守りセンター」への支援

「ふれあいペンダント事業」の、各市町村のセンターへの加入促進を支援しました。

加入市町村：大月市、小菅村、丹波山村、富士川町、南部町、早川町、市川三郷町、  
身延町、甲斐市（双葉）、韮崎市、北杜市

### 4) 企画委員会（委員長：中込副会長）

#### ①ICT業界紹介セミナー

・県内の大学、専門学校への業界紹介と、採用者の体験報告を学生相手に行いました。

1月17日 山梨学院大学 参加学生：31名

1月21日 山梨大学 参加学生：9名

1月30日 山梨県産業技術短期大学校 参加学生：47名

2月3日 山梨県立大学 参加学生：31名

#### ②山梨県内ICT企業情報データベース

・先期リニューアルした「山梨県内 ICT 企業情報データベース」に登録されている企業のデータ更新及び、登録企業の増加をめざし活動しました。結果はデータ更新 31 社、新規登録 3 社でした。

### ③男女参画

・婚活については、県民生活・男女参画課の「やまなし出会いイベントメールマガジン」の情報を会員各社への転送を行っていたが、下期より県の婚活応援サイト「婚活やまなし」が開設されたため、このサイトを紹介し各社が直接イベント情報を入手できるようにしました。

### ④Android ソフトウェアコンテスト

・募集期間：8月1日～10月10日。過去最も多い28件（6社2大学）の応募。

・最終審査：10月26日（システムインナカゴミ昭和校）

知事賞、県議会議長賞など6名（4社1大学）が受賞。

・表彰式：11月15日に「山梨テクノ ICT メッセ」の会場で開催しました。なお入賞作品は、テクノ ICT メッセ開催期間中 Y S A ブースにて展示し、来場者へアピールしました。



## 【第1号議案】

## 平成25年度収支報告（案）

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

## 1. 収入の部（単位：円）

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1. 会費収入	6,020,000	5,575,000	-445,000	
(1)会費収入	5,620,000	5,475,000	-145,000	退会2社
(2)入会金収入	100,000	100,000	0	
(3)特別会費	300,000	0	-300,000	
2. 事業収入	9,405,000	8,182,785	-1,222,215	
3. 補助金収入	1,000,000	1,050,000	50,000	
(1)県補助金	0	0	0	
(2)JISA 補助金	1,000,000	1,050,000	50,000	
4. 受託事業収入	16,232,583	14,458,286	-1,774,297	
5. 雑収入	0	1,988	1,988	
6. 負担金収入	590,000	590,000	0	
当期収入合計	33,247,583	29,858,059	-3,389,524	
前期繰越収支差額	2,267,246	2,267,246	0	
収入合計	35,514,829	32,125,305	-3,389,524	

2. 支出の部（単位：円）

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
<b>1. 事業費</b>	<b>25,967,102</b>	<b>20,950,015</b>	<b>-5,017,087</b>	
謝金	5,711,000	5,098,709	-612,291	
旅費	2,233,020	510,230	-1,722,790	
会議費	1,374,000	1,359,880	-14,120	
報償金	400,000	0	-400,000	
消耗品費	1,413,755	365,667	-1,048,088	
印刷製本費	241,000	190,400	-50,600	
通信運搬費	264,000	30,950	-233,050	
使用料及び賃借料	1,410,000	1,072,833	-337,167	
負担金	300,000	311,000	11,000	
委託費	3,000,000	2,670,000	-330,000	
受講料	100,000	129,320	29,320	
助成金	5,000	5,000	0	
広告宣伝費	50,000	190,688	140,688	
雑費	5,000	16,500	11,500	
事業人件費	8,037,526	7,720,676	-316,850	
福利厚生費	1,372,801	1,261,362	-111,439	
備品購入費	50,000	0	-50,000	
支払手数料	0	16,800	16,800	
<b>2. 管理費</b>	<b>7,128,594</b>	<b>7,473,050</b>	<b>344,456</b>	
旅費	240,000	262,832	22,832	
会議費	35,000	23,026	-11,974	
管理人件費	3,336,000	3,509,040	173,040	
福利厚生費	577,594	378,335	-199,259	
謝金	0	157,500	157,500	
支払手数料	50,000	44,415	-5,585	
消耗品費	50,000	119,882	69,882	
印刷製本費	0	21,000	21,000	
通信運搬費	348,000	459,748	111,748	
使用料及び賃借料	300,000	349,975	49,975	
負担金	300,000	285,500	-14,500	
委託費	1,400,000	1,180,000	-220,000	
備品購入費	50,000	202,350	152,350	
社会活動費	100,000	158,025	58,025	
広告費	0	0	0	
受講料	0	31,510	31,510	
雑費	270,000	215,912	-54,088	
納税準備金	72,000	74,000	2,000	
<b>3. 予備費</b>	<b>551,887</b>	<b>0</b>	<b>-551,887</b>	
当期支出合計	33,647,583	28,423,065	-5,224,518	
当期収支差額	-400,000	1,434,994	1,834,994	
次期繰越収支差額	1,867,246	3,702,240	1,834,994	

3. 正味財産計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金	
	額	
(1)資産増減額		
当期収支差額	1,434,994	
増減額合計		1,434,994
当期正味財産増減額		1,434,994
前期繰越正味財産額		2,267,246
期末正味財産合計額		3,702,240

## 4. 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
1 資産の部		
(1)流動資産		
普通預金	4,333,075	
未収金	0	
流動資産合計		4,333,075
資産合計		4,333,075
2 負債の部		
(2)流動負債		
預り金		0
未払金		630,835
流動負債合計		630,835
負債合計		630,835
3 正味財産の部		
正味財産		3,702,240
(うち当期増加額)		1,434,994
負債及び正味財産合計		4,333,075

## 5. 財産目録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
1 資産の部		
(1)流動資産		
普通預金		
山梨中央銀行通帳残高	4,333,075	
未収金	0	
流動資産合計		4,333,075
資産合計		4,333,075
2 負債の部		
(2)流動負債		
預り金		
社会保険料		0
未払金		630,835
流動負債合計		630,835
負債合計		630,835
3 正味財産の部		
正味財産		3,702,240
正味財産合計		3,702,240

## 6. 注記

### 計算書類に対する注記

#### 1 重要な会計方針

##### (1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金・未払金・預り金を含めている。

##### 2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	金 額
普通預金	4,333,075
未収金	0
未払金	630,835
預り金	0
合 計	3,702,240
次期繰越収支差額	3,702,240

### 収支差額処分

(金額:円)

区 分	金 額
収入実績額	32,125,305
支出実績額	28,423,065
当年度収支差額	3,702,240

上記当年度収支差額は次年度に繰り越しとする。

## 【第2号議案】

### 「会費に関する規則」の改定について

#### 1) 年会費の一括徴収

会費に関する規則第3条により、現在年会費は、上期・下期の2回に分けて徴収しているが、今後更なる資金繰りの安定を図るべく、期初1回の徴収とする。

#### 2) 理事特別会費の新設

一般社団法人化に伴い、社会に対する責任の重要性が増している。そのため、公益事業の充実を図るために、新たな条項を設ける。

1) については、平成27年度より、2) については平成26年度より実施する。

【現行規則】	【改定案】								
(納入時期及び方法) 第3条 前条の会費は、 <u>上期・下期に分けて</u> 、指定された日迄に、指定された口座に振り込むものとする。	(納入時期及び方法) 第3条 前条の会費は、 <u>期初に一括して</u> 、指定された日迄に、指定された口座に振り込むものとする。								
	(理事特別会費) 第6条 この法人の理事は、毎年、次の各号に該当する理事特別会費を納入しなければならない。 <table border="1"><thead><tr><th>役職</th><th>理事特別会費</th></tr></thead><tbody><tr><td>会長</td><td>7万円</td></tr><tr><td>副会長</td><td>5万円</td></tr><tr><td>理事</td><td>3万円</td></tr></tbody></table>	役職	理事特別会費	会長	7万円	副会長	5万円	理事	3万円
役職	理事特別会費								
会長	7万円								
副会長	5万円								
理事	3万円								

## 【第3号議案】

### 役員を選任について

## 【報告事項 1】

### 平成 26 年度事業計画

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

#### 1 業界を取り巻く情勢と基本方針

我が国経済は、アベノミクス第 1・第 2 の矢の効果により、円安が加速し、輸出産業は着実な成長を見せ、消費者物価の上昇は、デフレ傾向から脱却しつつあり、本年 1 月の政府月例報告では、個人消費の伸び、企業の設備投資の向上を勘案し、基調判断をリーマンショック前の 2008 年 1 月以来 6 年ぶりに、「緩やかに回復している」に引き上げられた。

情報通信産業においても、「特定サービス産業動態統計」平成 26 年 1 月分速報の前年同月比によると、「システムインテグレーション」は 4.5%、「ソフトウェアプロダクツ」は 11.4% 増となっており、「計算事務等情報処理」の 1.5% 減を除いて、すべてのジャンルで増加を示している。

情報関連産業の動向を見ても、再生可能エネルギーの活用に向けて、スマートコミュニティー構想への参画、経営改善のためのビッグデータ活用への提案、今年が元年とも言われるウェアラブル端末市場への対応、スマートフォン、タブレットの普及による、企業活動への導入促進等、あらゆる分野において、新たな ICT 需要の増加が見込まれている。また、国においては、物作りへの補助対象として、「情報処理」が新たに加えられ、ビジネス連携プラットフォーム事業の推進に大きな弾みとなる。

当協会においては、こうした状況を踏まえ、これまでの「需要に対応した供給」のみでなく、「時代を先取りしたソリューション・アプリケーションを提供することにより、新たな需要を創成する」視点に立った経営を目指す必要がある。このため、昨年度に引き続き、高度な情報技術、経営手腕を併せ持った人材の育成を推進すると共に、首都圏に集中する傾向にある ICT 需要を地域に牽引する体制作りを推進する。

また、一般社団法人として、社会的な立場はさらに高まっていくことから、グローバルな事業を推進するための、財政基盤の強化、収益確保のための事業を実施し、産学官との連携の促進、他産業との交流、会員相互の連携のための事業などを通じ、県内成長産業をより活性化させるプラットフォームとしての存在を発揮していかなければならない。

現在、全国規模の団体として、情報サービス産業協会（JISA）、首都圏情報団体連絡協議会へ加入しているが、今後さらに全国の情報通信産業の活動情報の収集と、情報通信産業の発展のため対外的活動を充実するために、新たに全国地域情報産業団体連合会（ANIA）加盟を行う予定である。



## 2 委員会活動

今年度も総務委員会、研修委員会、事業委員会、企画委員会の4常任委員会とし、前述の環境認識及び上記の基本方針に基づき、委員会活動を軸にした会員参画による事業を実施して行く。

また、活動予算に関しては、受託事業の減少により厳しくなっており、受益者負担を原則として計画して行く。

- 産学官連携による、成長産業への ICT 活用促進
- 高度情報技術、経営管理能力を備えた人材の育成
- 今後 ICT 産業で活躍する人材の発掘、育成
- 収益確保のための事業推進
- 会員相互の連携強化

### (1) 総務委員会

総務委員会は、当協会の総務関連の検討・活動を行う組織として、次の活動を行う。  
また、コンプライアンスの充実、社会貢献活動にも取り組んでいく。

#### 【主な実施項目】

- ①会員の加入促進
  - ・新規会員の増加に向け取り組みを行う。
- ②会議開催
  - ・通常総会、定例会、賀詞交歓会の開催
- ③会員間の親睦
  - ・親睦を深めるためのイベント開催
  - ・会員の階層別（女性・若手・中堅）の交流会
- ④外部機関・団体との交流事業の開催
  - ・JISA、メトロ連絡協議会、他県の情報サービス産業協会等
- ⑤会計・会務の健全化
  - ・事務運営の円滑化を図り会務の健全運営に取り組む

### (2) 企画委員会

企画委員会では、新規事業化の検討、ICT人材の発掘確保のための事業を行う。さらに協会活動に対する啓蒙を行う。

また、国・県が行う補助金等への応募のための情報を、年間を通じ会員に提供する。

#### 【主な実施項目】

- ①国、県、外部団体との事業化の検討

- ・事業、展示会等の企画実施
- ② ICT人材の確保
  - ・業界紹介セミナー
  - ・企業ガイダンス
  - ・インターンシップの実施
- ③広報活動
  - ・HPや広報誌等の情報発信機能を活用し、協会活動の啓蒙
  - ・ソフトコンテストの実施
- ④男女参画事業
  - ・イベント情報の発信
  - ・婚活イベントの実施

### **(3) 研修委員会**

会員及び一般企業のICT技術向上のためのICT研修の企画実施、産学官連携強化を推進する。

#### **【主な実施項目】**

- ① 新入社員研修
  - ・会員企業合同新採用社員研修会
  - ・基礎技術研修
- ② 中堅技術者研修
  - ・高度IT技術者研修
- ③ 産学連携強化
  - ・講師派遣
- ④ 情報収集、展示会視察
  - ・海外ICT最新事情視察研修
  - ・展示会见学

### **(4) 事業委員会**

県内各大学、県立研究機関・指導機関との情報交換・意見交換の機会を密にし、受注体制の整備、企画・提案機能の充実・強化に向け、産学官の連携のもとに、県内成長分野におけるICT利活用促進を行うとともに、YSAの収益となる事業を実施する。

#### **【主な実施項目】**

- ① 山梨テクノICTメッセへの出展
- ② 成長産業ICT化促進事業
  - ・ビジネスマッチング促進事業：農業、観光、製造業
- ③ 先進地視察

- ④ カテゴリー別組織運営支援
- ⑤ 収益事業の推進
  - ・国の補助金等を活用した、事業推進

### 3 事務局関係

拡大する業務に対応して、事務局業務の強化及び関係機関等との連携強化を図る。

#### 【主な実施項目】

- ①事業推進 理事会で承認された各委員会事業の積極的な推進
- ②情報提供 関連情報の収集と会員企業に対する情報提供の実施  
ホームページの更新及び運営、協会 PR 活動
- ③連絡調整 県、市町村等との連携の強化、陳情活動
- ④会議参加 関連団体（JISA、首都圏情報団体連絡会協議会、ANIA）への会議参加
- ⑤会議開催 理事会、定例会の開催

## 【報告事項 2】

## 平成 26 年度予算

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

## 1 収入の部 (単位:円)

科目/事業名		平成 26 年度 予算	平成 25 年度 予算 (3 月補正)	増減	備考
会費収入	入会金	150,000	100,000	50,000	
	年会費	5,590,000	5,475,000	115,000	
	特別会費	410,000	0	410,000	
会費収入合計		6,150,000	5,575,000	575,000	
事業収入	新入社員研修	220,000	200,000	20,000	
	高度 IT 技術者研修	300,000	0	300,000	
	賀詞交歓会	280,000	297,000	-17,000	
	情報交換会他(参加費)	280,000	299,400	-19,400	
	ICT 海外事情視察研修	1,800,000	0	1,800,000	
	展示会・視察研修	330,000	192,000	138,000	
	研修助成	0	102,900	-102,900	
	資格取得研修	120,000	0	120,000	
	異業種交流事業	35,000	35,000	0	
	成長分野人材育成事業	0	5,555,000	-5,555,000	
	ICT 化促進事業	700,000	780,485	-80,485	
	事務受託事業	315,000	336,000	-21,000	
産学官連携事業	0	200,000	-200,000		
事業収入合計		4,380,000	7,997,785	-3,617,785	
補助金収入	JISA	1,000,000	1,050,000	-50,000	
補助金収入合計		1,000,000	1,050,000	-50,000	
受託事業収入	県受託事業	4,342,184	15,089,121	-10,746,937	
受託事業収入合計		4,342,184	15,089,121	-10,746,937	
負担金収入	事務負担金	700,000	790,000	-90,000	
	その他	0	0	0	
負担金収入合計		700,000	790,000	-90,000	
雑収入	受取利息	0	1,988	-1,988	
	その他	0	185,000	-185,000	
雑収入合計		0	186,988	-186,988	
合計		16,572,184	30,688,894	-14,116,710	

2 支出の部 (単位：円)

科目	平成 26 年度	平成 25 年度 (3 月補正)	増減	備考
<b>事業費</b>	<b>8,332,000</b>	<b>20,925,127</b>	<b>-12,593,127</b>	
謝金	1,237,000	5,181,209	-3,944,209	
会議費	1,543,000	1,194,939	348,061	
使用料	1,001,000	1,072,833	-71,833	
消耗品費	105,000	335,000	-230,000	
印刷製本費	115,000	190,400	-75,400	
旅費	1,790,000	603,030	1,186,970	
助成金	0	0	0	
通信運搬費	0	30,950	-30,950	
支払手数料	20,000	17,220	2,780	
委託費	2,000,000	2,670,000	-670,000	
広告宣伝費	150,000	190,688	-40,688	
受講料	311,000	440,320	-129,320	
雑費	60,000	16,500	43,500	
事業人件費	0	7,720,676	-7,720,676	
事業福利厚生費	0	1,261,362	-1,261,362	
<b>管理費</b>	<b>8,175,540</b>	<b>7,396,628</b>	<b>778,912</b>	
謝金	157,500	157,500	0	
会議費	18,000	18,062	-62	
使用料	310,500	349,975	-39,475	
消耗品費	70,000	108,664	-38,664	
印刷製本費	10,000	21,000	-11,000	
旅費	350,000	262,832	87,168	
助成金	0	0	0	
通信運搬費	450,000	448,521	1,479	
支払手数料	50,000	43,785	6,215	
委託費	1,400,000	1,180,000	220,000	
受講料	0	31,510	-31,510	
雑費	150,000	181,456	-31,456	
社会活動費	160,000	158,025	1,975	
管理人件費	4,001,040	3,509,040	492,000	
管理福利厚生費	439,000	364,408	74,592	
備品購入費	50,000	202,350	-152,350	
負担金(加盟団体会費)	485,500	285,500	200,000	
納税準備金	74,000	74,000	0	
<b>合計</b>	<b>16,507,540</b>	<b>28,321,755</b>	<b>-11,814,215</b>	